

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 OKプロダクツ岡山		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒701-1334 岡山市北区高松原古才630	
本票作成	部署名：施設課				
主たる業種	分類コード	18	業種名：プラスチック製品製造業		
事業の概要	ポリエチレン製品の製造 従業員数 91名				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	本社工場		岡山市北区高松原古才630	
	②	吉備津工場		岡山市北区吉備津1224-2	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 2ヶ所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成22年度		～	平成26年度 (5箇年度)					
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成21年度)			目標年度 (平成26年度)					
	4,586 t CO <sub>2</sub>			4,357 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成21年度) の排出量					
	①	本社工場		4,493 t CO <sub>2</sub>					
	②	吉備津工場		93 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産重量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		0.511 t CO <sub>2</sub> / ( t )	0.485 t CO <sub>2</sub> / ( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

工程内ロス削減、生産性向上をメインテーマに原単位の向上を図り、社内環境方針である3年間で3%削減をベースに、5年で5%削減を目標に設定する。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備する  
大倉工業グループの環境管理体制を導入

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
本社工場	工場建屋の断熱（ガルバニウム鋼板）にて空調の効率化を実施 高効率変圧器の導入 送風用ファンのインバーター化 高効率蛍光灯器具の採用（故障交換・新設時）

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
本社工場	※製造部門での設備更新を計画的に行い、生産性を回復させ原単位の向上を図る。 ※蛍光灯器具の新設で、工場及び倉庫の水銀灯使用を中止する。 ※圧縮エア配管とエアコンプレッサー（インバーター制御機）を計画的に更新する。 ※既設の照明SWの細分化を進め、必要箇所のみ点灯を進める。 ※各部署の代表から構成された省エネ委員を選出し、従業員全体の省エネ意識の高揚を進める。

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

※事務所内の空調機温度設定を総務課が管理し、省エネ設定を守る。  
 ※毎月、社用車の積載物を確認・整理し、車両重量の低減を図る  
 ※各電灯SWに省エネを周知するラベルを作成・貼付を実施。  
 ※毎週水曜日を『ノー残業デー』とし、省エネを図る。  
 ※工場内各置場を見直し、フォークリフト作業の高効率化を図る。（バッテリー式リフト）